

Sustainable Report No.039

多様性が尊重される 時代に合わせた オフィス制服とは

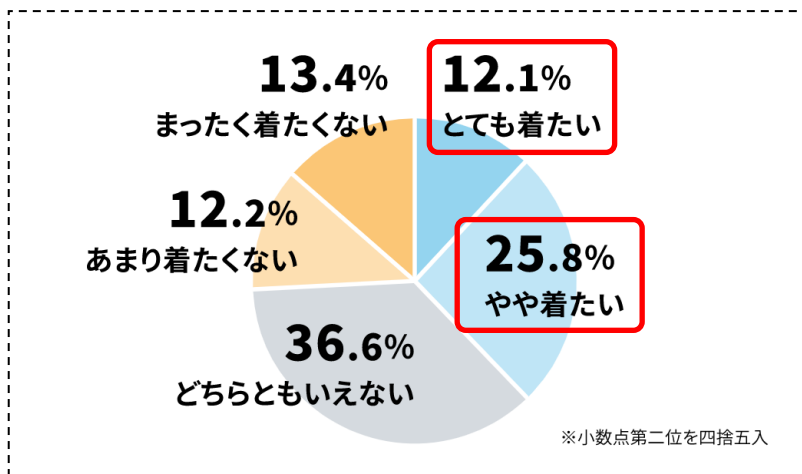


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

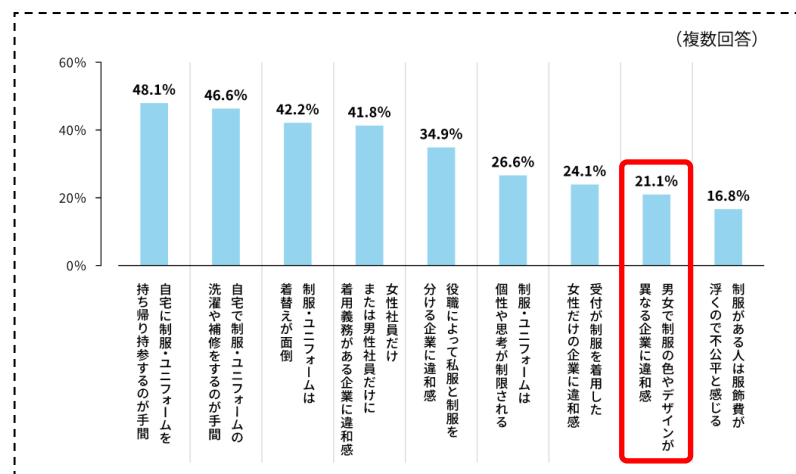
■ 現代人の制服に対する要望と配慮の変化

- 学生へのアンケートで、**社会人になった際に制服を「着たい」という回答は4割**を占めている。私服の場合、服に汚れや傷がつかないか気になり集中力が低下することが要因に挙げられる。
- 制服を求める声の一方で、**性別によって区別された異なるデザイン**に違和感が抱かれる。既に学生制服では、教育現場で関心が高まるLGBT配慮としてジェンダーレス制服の採用が広がっている。
- **多様性が尊重される現代**においては、職場における制服・ユニフォームの導入や見直しについても慎重に検討しなければならない。

■ 制服・ユニフォームの着用意向



■ 制服・ユニフォームへのデメリットへの共感度



出典：左右ともに一般財団法人サニクリーンアカデミー（赤枠は当社追記）

多様な業種の潜在的なニーズに応える作業服の変化とは

■ 新しい作業着を女性チームが開発

- 水道工事業を営む株式会社オアシスライフスタイルグループは、**清掃・設備・建設業界の人手不足や若年層の減少**を深刻な問題として、マイナスイメージの一変を図っていた。
- 2016年に女性チームが新しい作業着を開発。**見た目はスーツだがジャージのように伸び縮み**する生地は水や汚れに強く洗濯機で洗えてすぐ乾き、あらゆる現場の作業員に人気の商品となった。
- 屋外や身体を動かす業務に限らず、**オフィスワーカーの制服にもソリューションが必要**ではないか。

■ スーツに見える作業着

施設管理人、配達運転手、測量士、ごみ収集作業員等が採用



画像：左右ともに株式会社オアシスライフスタイルグループ

■ レディースBizモデル



オフィスワーカーの快適な職場環境とは

■ 社員が快適に仕事をするためのオフィス環境の実現

- 着心地の良い服装、快適な状態で仕事ができるように、オフィス環境の制服にも夏用・冬用の2種類が設けられていることが多いが、人によって**体感や価値観の違い**があり微調整は難しい。
- 制服は心地よく働くためのツールのひとつであると捉え、服装に固執しすぎず**柔軟な選択肢**を持つことが望ましいのではないかと。
- 温度調整においては、オフィスの適正なエネルギー消費を保ちながら、センサー等で**個々人に快適な環境をつくる次世代空調管理**の開発が期待される。

■ 法律の規定 = オフィ스에 適正な温度ではない？



オフィスの適正室温・適正湿度は、「労働安全衛生法」に基づく「事務所衛生基準規則」によって定められており、事業者は適切な環境を維持する努力が義務付けられています。

■ 事務所衛生基準規則に規定された適正温度・湿度

- オフィスの適正温度…17℃以上・28℃以下(空調設備がある場合)
- オフィスの適正湿度…40%以上・70%以下

出典：オフィスコム株式会社（厚生労働省「事務所衛生基準規則」）

■ 制服に求められる機能

夏用： **通気性・吸水性**

冬用： **保温性・防風性**

業務効率を上げるための快適な職場環境へ

■ 参照・引用資料

- 一般財団法人サニクリーンアカデミー,「制服やユニフォームに関する意識調査」,2022年5月, (https://www.sanicleen-academy.or.jp/research/cleaning_of_all/2107_uniform.html)
- 株式会社オアシスライフスタイルグループ,「レディースBizモデル登場」,2022年5月, (https://www.workwearsuit.com/contents/wws_about)
(<https://www.workwearsuit.com/>), (https://www.workwearsuit.com/contents/women_bizmodel)
- オフィスコム株式会社,「オフィスの適正温度は?快適なオフィス環境を保つコツ」,2021年5月7日, (https://www.office-com.jp/gimon/work-space/office_temperature.html)
- 厚生労働省,「事務所衛生基準規則」,2022年4月1日, (https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=74089000&dataType=0&pageNo=1)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。